刈谷図書
剛田眞之藏書

雲我物語卷第三目録

九月つゐ月おいちまんこくわうちくのこと城をせめる事
きやうたいとくろかせいせる事
あん太うのへきやうたいうの所ゆくひうゆく事
こくはくれしる
すけたかきやうたいつれてりさやうへゆく事
きやうたいをうちりうこひやーにあるく事
ゆうれみきをひきうさられし事
人くきこへ海のうてこひやーさたくる事
りうさ山のたけくこひゆるきたく事
こんのちやうちのるまてきやうたいにをうさる事
うのこれてうをまよ城こひ事

雲我物語卷第四

十郎りんゆくれ事
くまうゆんゆーひくしられ人をうさられことりるこひゆくこと
けりうゐ月日のさるまて一まんこ十三さいうるうふりる為れ
海さうなるうまくこうをくくるるれこひちうよりん
ゆくしてまくちくのなをこうりうれ十良すけなるとおのりける
ここわうこと孫へ為不ふる
母れくこのこうとこひよさそのさまひりるやまとみやこ
海の色けなりれりしを色ゆきはうしふるこ為くこんしてれやれ
こせやふうくゆゆくくれここうや海くなりふ色のすよを
れのたくみなを遠こ遠くくえんこうの袖のころもうなるーす
でんていいわうも力をすて人おたいするふこころなーうきをうく

雲我物語卷第十一

くうくうの色きこれ事
うをくくんきうの色今年りり月上を西ん内ひつおうゐ月日を
うりうてきれふくをたりの色くもうえなつをてえれもやう
くたちられこひうんこよこりてこうやうまんれこもうやふ
ていゆいりくありあれくうん三よ衣こうりてうやうこんいまさ
うの色ちされこうれにんきあさ一人こえをこうめの衣ふなる
いろりけさこりてあーけるゐ山まふひやくこをこひのきそ衣
こりなれこれをこ為をこ十郎まりくひしれ海いうのこう
こりうをちうくくのりこうゆえうを海こえ為うこ五りるこけくひ
をりひりるを人くれ百の日人為うやうれ海いうこをも町こ
れくくんこおけ為されくをこ海のは山こをこ五しこうを為

雲我物語卷第十二

くくこ孫こをりこをこひこをゆえりりけ事
ほれりをうれ海いうりのやうこ十郎すけりをうちこうれう
きこりりりるりる川ゆもりくくやこなりひこれくくもなきん人
はれいりりこゆもけるうこれをもひこんくうこれ世こうむき
をこくうりの人のは世やふちくこなりひこちけさ衣なこくしの
色をこ孫山りけれこ百の日れ海れしりれるゆーりなく
くひすひりりんくーこうこれくくこれりりるこくーこ
りりくーうこけ海れたりここひよりの色てをこりの色むりやけ
をこをるひさくーりの袖こりをくひすくるれ海こけるれくくりまこを
みをこれるれるーをるれたりこりうりりりりれりりかれこをる
やーりりふくしりきりりのつくりりこりこりけりりりりりりこれ